

平成23年度ヨコワ情報

平成23年12月16日
鹿児島県水産技術開発センター



1 今後のヨコワの来遊予測

今年度漁期（平成23年12月から平成24年4月）の南薩海域へのヨコワの来遊は、次のように予測されます。

今年度漁期のヨコワ漁獲量は、前年(5.4トン)を上回りますが、平年*¹(24.8トン)を下回る**低水準***²となり、直近5ヶ年並(9.8トン)の漁模様となるでしょう。

*1 平年値はS62~H22年の平均値を使用。

*2 S62年からの漁獲量を基に低・中・高の3水準に区分し、評価しています。

低水準：15トン未満 中水準：15トン以上30トン未満 高水準：30トン以上

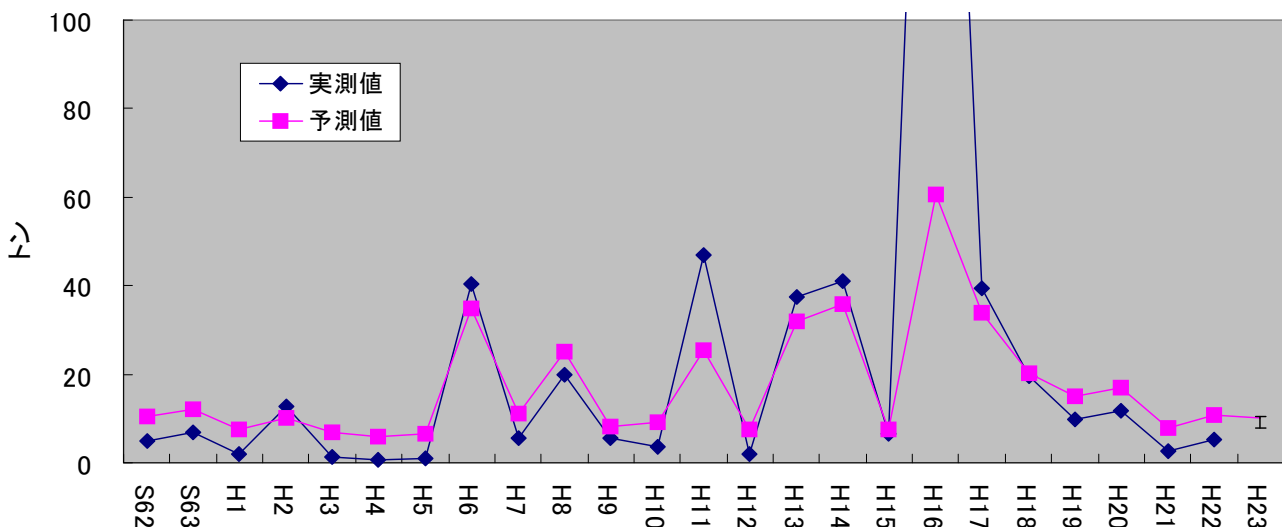
2 予測の根拠

現在、近隣海域のヨコワ等の漁模様及び水温等の海況要因が当県のヨコワ漁獲量にどのような影響を与えるか鹿児島大学水産学部と共同で検討・分析を進めています。

本予測はS62年からの長崎県ヨコワ漁獲量、高知県ヨコワ養殖用種苗漁獲量、沖縄県クロマグロ漁獲量、日本海まき網船のクロマグロ漁獲量、本県ヨコワ養殖用種苗漁獲量、本県カツオ漁獲量及び南薩・西薩海域の水温、黒潮の離接岸状況を説明要因として予測しています。今後、詳細な関係性が明らかとなりましたら、順次情報提供を行っていく予定です。

【参考】現在の試作モデルでのヨコワ漁獲量予測

H23年度漁期（H23.12~H24.4）の漁獲量予測 7.9~10.5トン



※ H17年 実測値271.5トン、予測値60.66トン

今後、漁海況週報やホームページ上で発表する水温情報に注目してください。
ヨコワ漁場の水温の目安は、18~20℃の水温帯です。

(参考情報)

(1) 現在までの近隣海域のヨコワ情報

① 山口県海域

前年・平年を下回る漁模様。例年見島沖に漁場が形成されるが、今年は漁場が更に沖側に遠くなっている。

② 対馬海域

11月下旬から曳縄漁が始まったが、低調な漁模様。

③ 五島海域

11月から曳縄漁が始まったが、低調な漁模様。

④ 高知県海域

夏季の養殖用種苗の採捕尾数は前年・平年を下回った。

⑤ 鹿児島県沿岸域

12月上旬現在、甌島西沖にて10～200kg/隻・日の漁。しかし、日により好・不漁が激しい。

(2) クロマグロ大型群に関する情報

① 太平洋

北部太平洋で今年、大中型まき網により11月末までに漁獲されたクロマグロの漁獲量は以下のとおり。

- ・20kg以上の「マグロ」の漁獲量は前年を上回ったが、平年を下回った。
- ・20kg未満の「メジ」の漁獲量は前年・平年を下回った。

② 日本海

日本海の境港に今年、大中型まき網により水揚げされたクロマグロの漁獲量は、前年・平年を上回った。

鹿児島県水産技術開発センター

〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10

TEL : 0993-27-9212, FAX : 0993-27-9218

E-mail : suigi@pref.kagoshima.lg.jp

U R L : <http://kagoshima.suigi.jp>

<http://kagoshima.suigi.jp/i/> (携帯電話)

漁海況週報FAX情報サービス

衛星画像(水温分布図) FAX : 0993-27-9234

漁海況週報 FAX : 0993-27-9235

